

## 『漢字検定 出る順完全トレーニング』の新審査基準への対応について

現文舎発行の漢字検定対策の参考書『漢字検定出る順完全トレーニング』は、新審査基準の対策学習用教材として、そのままご利用いただけます。

試験の形式、配点は、2級、準2級、3級、4級、5級ともに変更はありません。

ただし、2級には追加された漢字があるため、当社では追加された漢字に対応した想定問題集を作成しました。

### ◆漢字能力検定試験の変更点

平成22年に新しい常用漢字が告示されたことを受けて、漢字能力検定試験の配当漢字の一部が変更され、平成24年の第1回試験（6月実施）から適用されます。

[配当漢字の変更内容]

3級	「脹」の1字を抜く。
準2級	「勺」「錘」「銑」「刃」の4字を抜く。
2級	新しく告示された常用漢字から191字が追加。

### ◆漢字能力検定試験2級の難易度への影響

追加された191漢字は難しいものが多いため、「読み」の問題を中心に出题されることが想定されます。「書き取り」に出题される場合は、画数の少ない漢字をはじめとする難度の低い漢字と考えられますし、その他の出题ジャンル(四字熟語等)に追加の漢字が出题される可能性は非常に低いといえます。

また「読み」の配点は200点中30点であるため、新しい漢字の追加によって漢検2級の合格難易度が急激に上がることは考えられません。

### ◆漢字検定2級新審査基準対応想定問題集ダウンロード

追加された漢字の想定問題集は、[こちらからダウンロード](#)できます。